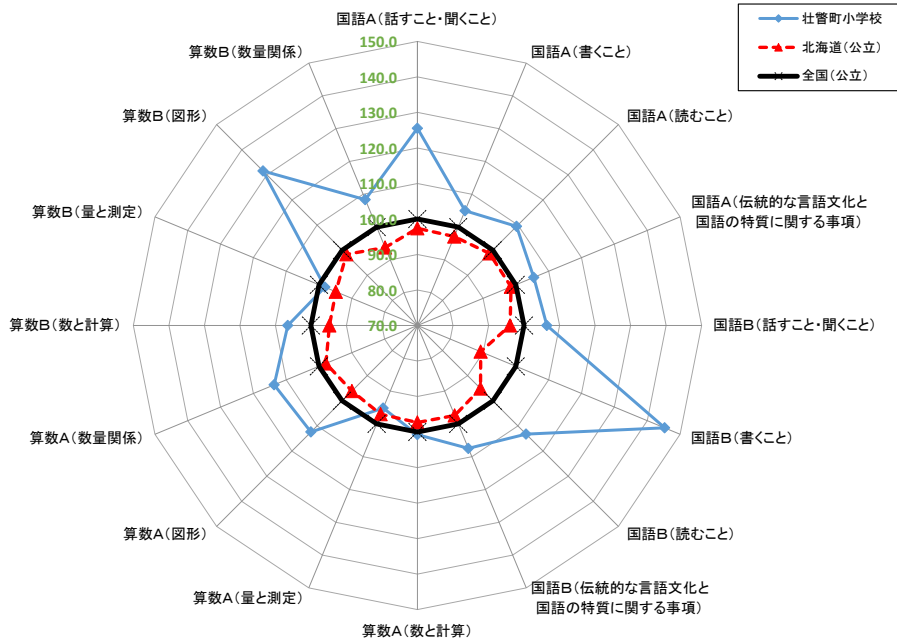


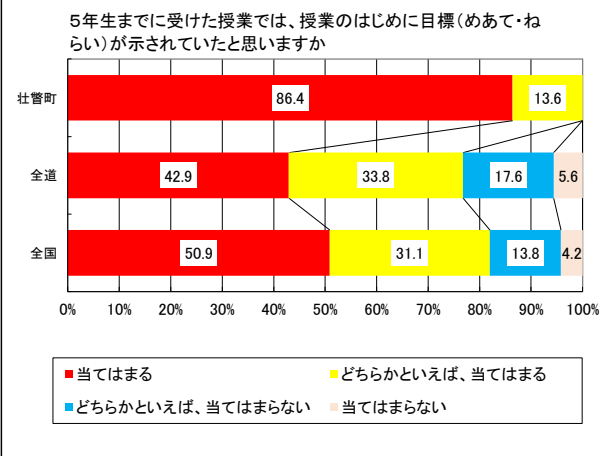
■ 壮瞥町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:22名)

【教科全体の状況】

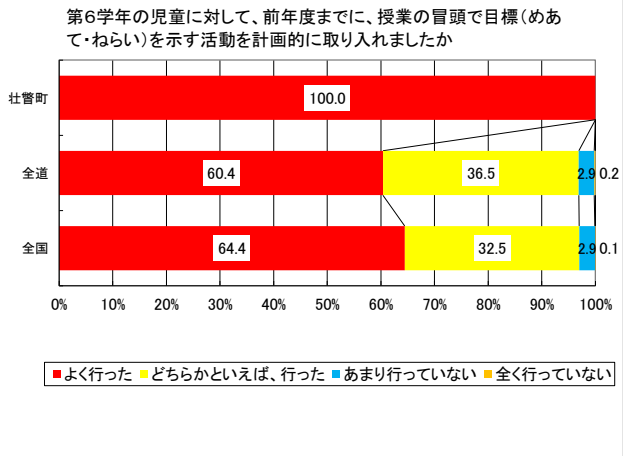
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率は、全ての教科において全道、全国を上回っている。 ○ 領域別に見ると、算数A及びBの「量と測定」を除く全ての領域で全国の平均正答率を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年で標準学力検査を実施し、児童の学習状況を把握するとともに、巡回指導教員や指導方法工夫改善加配教員等を活用し、個に応じたきめ細かな指導の充実を図ったことが、全国平均を上回る結果につながったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業のはじめに目標が示されていたと回答した児童が全道、全国を大きく上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に行ったことにより、子どもたちは見通しをもって学習を進めることができ、その結果、全ての教科において、学習内容の確実な定着が図られてきたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の冒頭で目標を示す活動を計画的に取り入れている学校が、全道、全国を大きく上回っている。 	

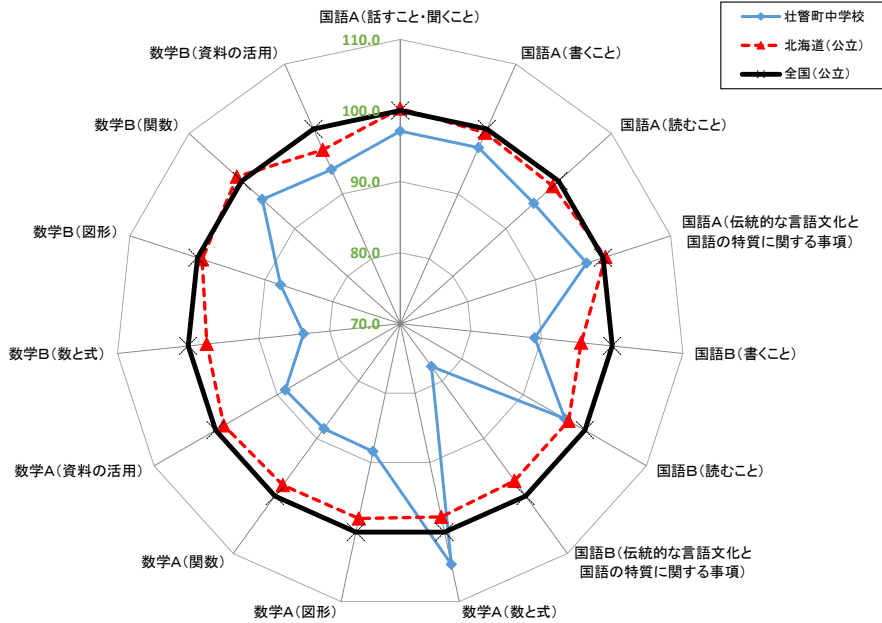
【壮瞥町の学力向上策】

- ◎ 学校評価の共通取組目標「基礎・基本の着実な定着」の達成に向けたチャレンジテストの活用や、標準学力検査の公費負担による全学年での実施
- ◎ 巡回指導教員や指導方法工夫改善加配教員等を活用した指導環境の充実と授業力の向上
- ◎ 生活リズムチェックシート及び家庭学習の手引きを活用した家庭学習の習慣化に向けた取組
- ◎ 朝読書、家読書を通じた読書習慣の確立と、巡回、移動図書事業による読書活動の推進

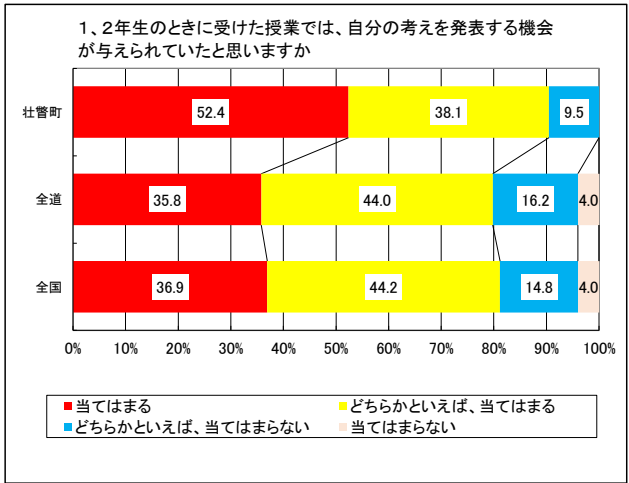
■ 壮瞥町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:21名)

【教科全体の状況】

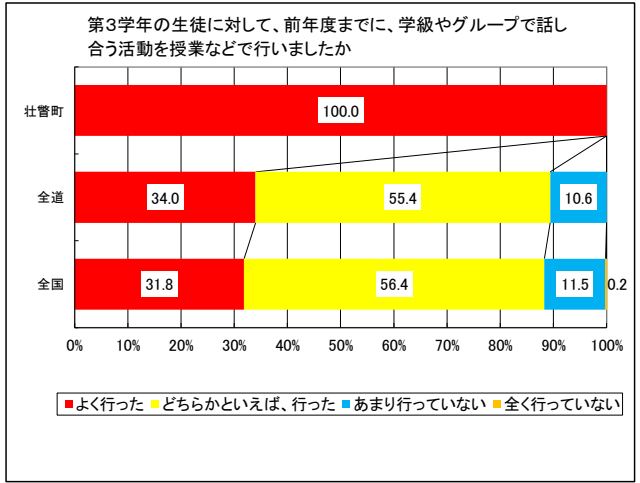
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教科において、全道、全国の平均正答率を下回っている。 ○ 領域別に見ると、数学A(数と式)が全国の平均正答率を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、授業にグループで話し合う活動を多く取り入れ、自分の考えを発表させる場面を位置付けたことにより、基礎・基本の着実な定着につながっていると考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを発表する機会が与えられていたと回答した生徒が、全道、全国より多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年で標準学力検査を実施し、生徒の学習状況を把握するとともに、巡回指導教員やTTを活用し、指導環境の充実を図ったことにより、数学A「数と式」が全国の平均正答率を上回る結果となったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級やグループで話し合う授業を行った学校が、全道、全国より多い。 	

【壮瞥町の学力向上策】

- ◎ 学校評価の共通取組目標「基礎・基本の着実な定着」の達成に向けたチャレンジテストの活用や、標準学力検査の公費負担による全学年での実施
- ◎ 巡回指導教員の活用やTTによる指導環境の充実と授業力向上の取組
- ◎ 生活リズムチェックシート及び家庭学習の手引を活用した家庭学習の習慣化に向けた取組
- ◎ 朝読書、家読書を通じた読書習慣の確立と、巡回、移動図書事業による読書活動推進の取組